

ベルマーク新聞 12月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

本の面白さ、小学生が「帯」で表現

大阪でコンクール、ベルマーク賞も



(写真左)入賞したみなさん
(右)ベルマーク賞の贈呈
(右中)市川翔子さん
(右下)本に装着された市川さんの作品

児童書を紹介する「帯」を小学生がデザインする「大阪こども『本の帯創作コンクール』」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)の入賞作が決まり、11月10日に大阪府立中央図書館で表彰式がありました。13都府県の305校から1万2931点の応募があり、今年から創設されたベルマーク賞を含む113点選ばれました。

課題図書部門(低、中、高学年)と自由図書部門(全学年)があり、大阪読書推進会長の宮川健郎・武蔵野大教授らが審査にあたりました。課題図書部門で府知事賞、朝日新聞社賞、大阪国際児童文学振興財団賞に選ばれた9点は、実際に本の帯となり、おもに大阪府内の主要書店に並びます。

ベルマーク賞は、課題図書「さるとびすすけ愛とお金とゴキZのまき」(宮西達也・作絵、ほるぷ出版刊)をとりあげた高槻市立真上小学校4年の市川翔子さんの作品。ニンジャがっこうで、先生から「一人前のニンジャになるために世界で一番大切なことは何か」と質問された「さるとびすすけ」らが巻き起こす、奇想天外なストーリーの本です。

「すすけたちの愛のものがたり!」「ニンジャにたいせつなのはべんきょう?」「せいかく別々の2人の先生?!」「あぶないきょうてき?!」——。印象的なキャッチコピーとかわいいイラストが読者の興味をかきたてます。

市川さんは入学以来320冊以上読んだという本好き。「自分なら帯にどんな

ことを書こうかな」と考えながら読むことも多いそうです。今回は、忍者に興味があつたこともあり、この本を選びました。伝えたいと感じたことをノートに全部書き出して絞り込み、字の太さや色づかい、イラストなど、デザインにも気を配って仕上げました。「入賞はびっくりしました。来年は自分が作った帯を付けた本が本屋さんにも並ぶように頑張ります」。表彰式ではベルマーク財団の平井公・常務理事から賞状と副賞の図書カードが手渡されました。

入賞者一覧と主な入賞作は大阪府書店商業組合のHPでご覧になれます。ベルマーク賞の創設を機に、同組合に加盟する大阪府内の約250の書店がベルマーク収集への協力を始めています。



レモネード大作戦、10万円寄付

西日本豪雨の援助に／関西学院大の学生

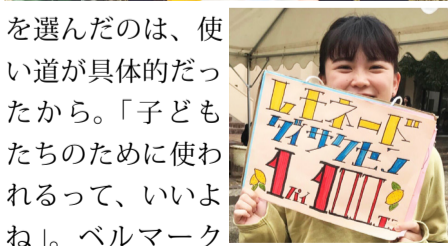
「明日からレモネードを売って、その売上金を西日本豪雨被災地に援助したいのですが……」

こんな電話がありました。関西学院大学で10月16日から開かれる生協祭にレモネードのスタンドを出す学生たちです。その後、目標の売り上げ1000杯を達成したからと、財団に10万円が振り込まれました。領収書の宛名を聞くと、その返事は「レモネード大作戦」。

連絡をくれた理工学部の竹本みぞれさんと人間福祉学部の森美月さんに話を聞きました。学部の違う二人は、熊本地震のボランティア活動で知り合いました。今回の西日本豪雨で、何か募金活動はできないかと、仲間たちとレモネード販売を計画。仕入れ先を探していたら、趣旨に賛同した広島県の2農家が、レモンを800個無償で送ってくれたそうです。売上を寄付する先にベルマーク財団



(上)左端が森美月さん(下)竹本みぞれさん



を選んだのは、使い道が具体的だったから。「子どもたちのために使われるって、いいよね」。ベルマークならみんな知っていることも大きかったそう。「私たちも子どもの頃、マークを切っていましたから」。

関わった方は計27人にもものぼるそうです。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

すべり台が世代交代

ゾウからハリネズミへ／静岡・黒田幼稚園

静岡県富士宮市の学校法人とくのう学園黒田幼稚園(吉野けい子園長・園児270人)に、このほどハリネズミのすべり台が届きました。20年前にベルマークで購入したゾウさんのすべり台が老朽化してきたための買い替えで、今回もベルマーク預金で購入しました。

同園は1984年にベルマーク運動に参加。父母の会の「ベルマークママ」16人が中心となって活発に活動しています。近隣では、黒田幼稚園に入園したと話すと「ではベルマーク集めておくれ!」と言われるほど、黒田幼稚園=ベルマークの印象が強いそうです。

これまでに集めたマークの累計は600万点以上。初代すべり台の「ゾウさん」をはじめ、アップライトピアノ、からくり時計、交通安全教室で使うウサギやゾウの着ぐるみなど様々なものを買ってきました。園児の意識も高く、月100

枚集めてくる子もいるそうです。

二代目すべり台のハリネズミは、背面にクライミング用のホールドも付いていて、あちこちからよじ登れるようになっています。ゾウさん同様に子どもたちに大人気だそうで、吉野園長は「皆さんが努力して集めたマークを形に残せるのは素晴らしいこと。引き続きベルマークを積極的に活用していきたい」と話していました。



「地道に」「意識高めて」「地域と協力」「積み重ね」

700万点 横須賀市立鶴久保小学校

京浜急行の横須賀中央駅からバスで約15分。横須賀アリーナや陸上競技施設がそろった不入斗(いりやまず)公園に隣接するのが横須賀市立鶴久保小学校(丹治美穂子校長、児童602人)。このほどベルマーク累計700万点を達成しました。1962年にベルマーク運動に参加、2010年に600万点を達成してから8年間で100万点を集めました。



鶴久保小ではPTA厚成委員会18人が中心となり、ほぼ毎月1回活動しています。

年度初めに全児童に一覧表とマークを入れる封筒、厚成委員だよりを配布し、活動日に委員が全24クラスを回って回収箱に入れられた封筒を集めます。

集めたマークは切り揃え、卵パックを使って会社別に分け、透明の引き出しケースにまとめて保管し、年に2回集計してベルマーク財団に送ります。

近隣の町内会館やボランティアセンター、スーパーなど13ヶ所にも回収箱を置いています。かつてはマークが集まりすぎて集計が追いつかないという悩みがあったそうですが、今は年3回のボランティア参加日を設定、人数を増やして活動しています。年度初めに便りを通じて呼びかけ、各回15～20人ほどが参

加しているそうです。

給食の牛乳がテトラパックなので、すべてベルマーク点数に交換しています。



またインクカートリッジ用に学校の昇降口付近のホールに箱を置き、他の資源回収とともに常時入れられるようにしています。児童や保護者が持参し、箱がいっぱいになったら送るようにしています。

厚成委員会委員長の上嶋優子さんは「働いていたり、幼児を連れていたりする保護者が参加しやすいよう、キッズコーナーを設け、集まる時間を工夫するなど、少しずつ活動しやすくしていきたいです。ベルマークの仕組みや活動の楽しさをもっと知っていただき、これからも地道に集めていきたい」と話しました。



800万点 川崎市立高津小学校

「歴史も古く、地域の方々との交流も盛んなので、保護者の皆様をはじめ、様々な方のご協力を得て順調にベルマークを集めることができています」

神奈川県川崎市立高津小学校(高木朗校長・児童1028人)が、7月に800万点を達成しました。事前のアンケートに答えてくださったのはPTA副会長の重元千晶さん。小学生時代は児童会で卒業式の前日まで熱心にマークを集めていたそうです。



児童数1000人を超す大規模校の高津小のルーツは、学制が公布された1872年(明治5年)、地元にあった宗隆寺の寺子屋だそう。地域とのつながりは強力で、郵便局、信用金庫、保育園、生涯学習施設、酒屋さんなどに回収箱を設置してもらっています。

PTAの作業は学年単位。さらに仕分けなどをする平日係、自宅で集計する在宅係、まとめて合算する土曜集計係などに分かれます。取材した11月6日は3年生の保護者の平日係9人が集まりまし

た。仕分けが始まると、ガサガサと大きな紙が登場。広げてみると、なんとベルマーク一覧表を何倍にも拡大コピーしたものです。この上にマークを置いていくのが高津小流。仕分け後は在宅さんが持ち帰る「在宅セット」に入れます。

今年度のベルマークだよりの担当はPTA役員の福永理華さん。今までのおたよりを参考にしつつ「2回に1回はリニューアルするようにしています」と話してくれました。

集まったマークで、最近では体育館で使う大型扇風機を買ったそうです。高木校長は「学校が困っているときに、いつもいつも手を差し伸べてもらっています」と感謝の言葉を述べました。

「働いているお母さんも多いので効率化を図っていくのも大切」と重元さん。その一方で「開校150周年に向けて買いたいものを決め、目標にすれば、子どもたちも参加した気になるかも」と今後を見据えていました。

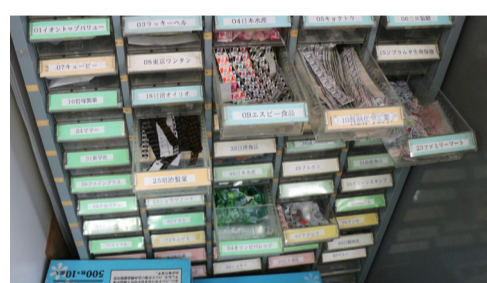


800万点 横須賀市立池上小学校

昨年度43万点余を集め、神奈川県でダントツ1位の集票点数に輝いた横須賀市立池上小学校(高橋淳一校長、児童697人)。1961年の運動参加以降、マークを着実に集め続け、今年9月に累計800万点を達成しました。

JR横須賀線の衣笠駅から車で15分ほど。ホテルを鑑賞できる平作川や「しょうぶ園」など自然に囲まれた場所に同校はあります。学区が広いため、家用車の送迎で通う児童もいます。

5月のベルマーク運動説明会で体験発表して下さった、2017年度学級委員長の栗原(くわばら)美香さんと、副委員長の宮川美保さんにお話を伺いました。4年ほど学級委員を務め、同校のベルマーク運動を支えるベテラン。お二人とも「ベルマーク大好き!」と声を揃えます。もともと細かい作業が好きだそうで、マークが集まりすぎて作業が進まない時は、大きな袋にいっぱい、サンタクロ



スのように持ち帰ったりするそうです。

各教室に設置している回収袋に児童がマークを入れ、月1回の定例会でPTA学級委員が整理・集計します。作業には毎回22人の委員のうち約半数が参加し、切り直しと仕分け後にホチキスやテープで束ねて引き出しに保管。年2回財団に発送します。インクカートリッジは専用の回収箱が一杯になったら送ります。また、テトラパックは給食の牛乳パックを児童が洗い、調理員が倉庫に保管します。ベルマーク預金では毎年、竹馬ラックや相撲マット、玉入れ用カラー玉など、児童に役立つものを購入しています。

「ベルマーク強化月間」を設け、お便りを通じて呼びかけるほか、近隣のスーパーやコンビニ、郵便局や銀行などにも回収箱を置いて地域の協力も仰いでいます。今後はもっと協力してくれる店舗数を増やしていきたいそうです。

栗原さんと宮川さんは「ベルマーク収集への意識を高めたい。財団見学なども企画してさらに盛り上げていきたいです」と意気込みを語ってくれました。

900万点 豊中市立大池小学校

1964年からベルマーク運動に参加している大阪府の豊中市立大池小学校(児童数706人)の累計点数が7月に、府内で初めて900万を超えました。9年で100万点を積み上げました。



ベルマークの担当はPTA施設委員会の12人。春休みと夏休み以外はほぼ月1回、学校に集まっています。年間の活動日が決まっています作業内容もわかりやすいことから、毎年人気が高く、抽選でメンバーを決めています。今年の競争率は約8倍だったそうです。

月初めに全校児童に回収用の封筒を渡し、ベルマークとインクカートリッジを入れて提出してもらいます。他に学校の玄関にも手作りの大型の回収ボックスを設置しています。さらに周辺の電気店やスーパー、郵便局、コミュニティーセンターなど7カ所にも回収箱を設け、月に1度、集めに回っています。

こうして収集したマークは施設委員会の活動日にベルマーク番号ごとに分け、メンバーが分担して自宅で集計。翌月の

活動日に持ち寄って財団へ発送します。

毎年10万点前後が集まり、子どもたちの意見も聞いて、一昨年は一輪車8台と全クラス分のボール、昨年は卓球台と大型整理台車を購入しました。渡辺浩校長も「大助かりです」と喜んでいました。

900万点達成について、施設委員長の今井友美さんは「積み重ねのすごさを実感します」。回収袋を毎月渡していることが「集めよう」との意識付けにつながっているのではないかと、とも。

「地域の協力も大きい」と話すのは副委員長の橋本道子さん。電器店が関係先にも呼びかけてたくさんのインクカートリッジを集めてくれたり、お年寄りがこつこつと貯めたマークを学校に持ってきてくれたり。「本当にありがたいです」。

いま力を入れ始めているのはウェブベルマーク。夏休み前に全家庭にチラシを配り、登録と利用を呼びかけました。今後もPRに努め、1千万点につなげたいと考えています。



驚いて、挑戦して、頑張っ、発見して — ベルマークのへき地出前授業

🌸 あまりにもすごくて茫然

一輪車講習会@南三陸町立戸倉小学校

「模範演技をたくさん見せてほしい」。10月26日、宮城県南三陸町の戸倉小で開かれた一輪車講習会は、全校児童59人の半数近くが一輪車に乗れるとあって、こんなリクエストが寄せられました。



先生は国際競技大会で優勝経験を持つ、おなじみ鈴木奈菜さんと須郷真弥さん。要望通りに体育館で、音楽に乗って華麗な技を披露すると、子どもたちから拍手と歓声が……な、なぜか起こりません!!

「あまりにもすご過ぎて反応できないんですよ。異次元のものを見た衝撃ですね」と高橋俊之教頭。「声を出していいんだよ」と先生たちがリードすると、やっと子どもたちに「生氣」が戻ってきました。

同小は震災の際、海の近くにあった旧校舎が津波に呑まれ、3年前、高台に新

校舎が完成して再出発しました。山を切り開いた校庭は広々としています。実技指導はその校庭で。初心者も、乗れる子どもも、それぞれに挑戦を始めます。アイドリングにトライした6年生の佐々木柚海(ゆあ)さんは「難しかったけど、須郷先生にアドバイスをもらってかなりできるようになった」。

「姿勢が大切なんです。一輪車は体幹ですよ」と訳知り顔で解説する高橋教頭。「ひょっとして?」とたずねると……。「実は20代で一輪車を始め、蹴り上げ乗車もアイドリングもマスターしました。転倒してじん帯を切り辞めてしまったんです。秘密にしてたんですが」

さすが経験者、ご慧眼(けいがん)、恐れ入りました。



🌸 目を輝かす杉田玄白の“末裔”

理科実験教室@小浜市立中名田小学校

「オガムシ(カメムシ)が多い年は大雪になるって言い伝えがあるけど、今年は暖冬になりそうだね」

タクシーの運転手さんの言葉をきくうちに、福井県小浜市立中名田小学校(村上奈保子校長、児童数33人)に着きました。今日(11月11日)のテーマは「空気の実験を体験しよう」。講師は理科教育分野で数々の受賞歴を持つ同県坂井市立丸岡南中学校の月僧(げっそう)秀弥先生です。

「空気って、本当は重いんだよ」。体育館に集まった児童と保護者ら約80人に、月僧先生が語りかけます。先生は風船や広口びんを使って様々な実験をしてみせ、空気の実験を実感させていきます。

「これはダイソンです」と先生が取り出した掃除機は、よく見るとマジックで「だいそん」と手書き文字が。皆大笑いです。その掃除機が筒の上部から空気を吸い出すと、中にある重たいボウリングの球が見事に浮き上がりました。

子ども達は終始、目をキラキラ輝かせていました。6年生の大江健斗くんは「これまで空気や風について、あんまり考え



たことがなく、勉強になった」。探求心旺盛な子ども達の姿を見ていると、この地が生んだ偉人、杉田玄白のことをふと思い出しました。

「解体新書」で知られる江戸時代の蘭学者・玄白は、実は小浜藩の藩医で、今でも市民の誇りです。駅前通りにある地域の拠点病院は「杉田玄白記念 公立小浜病院」。玄白の銅像も立っていました。



🌸 クリオネってかわいい!?

理科実験教室@会津若松市立湊中学校

北海道立流水科学センターの桑原尚司さんは、「氷の妖精」クリオネの研究者としても知られ、2016年には1902年以来というクリオネの新種の発見もしています。その桑原さんが11月16日、福島県会津若松市の市立湊中学校(佐久間一晃校長、児童28人)を訪れました。

まずオホーツク海の流水や生物をスライドで紹介。そして「過冷却」の実験へと進みます。氷水を入れたミニバケツにどんどん塩を入れて-10℃まで温度を下げ、そこに水を入れた試験管を入れますが、そのままでは凍りません。ところが試験管に小さな氷片を落とすと、途端にスーッと白く凍ります。「スゴイね!」



「面白いね!」。さらに、オホーツク海が凍る理由の話から、塩分濃度の違いで水に層ができる実験をし、いよいよ本日の「真打」クリオネの登場です。

小さなクリオネが2匹ずつ入ったペットボトルが配られました。「パタパタしてる!」「かわいい!」。でも、映像を使った説明では、餌の小さな貝を食べるため、頭がパカッと割れて触手のようなものが飛び出す衝撃的なシーンも。妖精というよりエイリアンのようなその姿に、大きなよめきが上がりました。

桑原さんは「観察し、仮説を立て、実験し、成功しても失敗しても、その理由を数字で考えていくのが理科。どんどん理科を好きになってください」と締めくくりました。2年生の田中健二郎さんは「今日学んだことは決して忘れません」と声を弾ませていました。



🌸 見えない紫外線、捕まえた

理科実験教室@日光市立湯西川小学校

平家落人の里と伝えられる栃木県日光市の湯西川温泉郷。紅葉が燃えるような山を背景に建つのが湯西川小(見目宗弘校長、児童15人)です。この地域は「伴」という姓が多いそう。「つくりの半」は点の位置を変えると「平」になるんです」と見目校長先生。裏山からは時にカモシカが降りてくるそうです。ここで11月7日、理科実験教室が開かれました。

講師は村上規代先生。宮城県都城市にお住まいの元高校教師で、地元の発明協会の理事も務めています。「きょうはお日さまの光について勉強します」。DVDを見て予習した後、まずは「光るウルトラマンバッジ」を製作。薬液と蓄光材の粉をまぜ、型に流し込み、固まったら安全ピンを取り付けます。十分に光に当たると、ひと晩中でも光っているそうです。「暗やみでもウルトラマンがいつも君を守ってくれますよ」。



続いて、目に見えない紫外線をつかまえる実験。先生特製の「忍者えのぐ」を使って「忍者バルーンスライム」を作ります。教室ではまっ白ですが、校庭に持ち出すと、あっという間に赤やピンクの色が。「あれ?」「なんだこれは〜」。「忍者えのぐ」は紫外線に反応して忍者のように発色するのです。

「紫外線には3種類あり、人体に有害なものもあります。太陽の強い夏に外出するときは必ずつばのある帽子をかぶってください」と村上先生。子どもたちは「ありがとうございました!」と声をそろえてお礼をいいました。



あなたしかできない作品を

オーサービジット・絵本作家の宮西達也さん／北海道八雲養護学校



生徒・先生の皆さんと宮西さんと記念撮影

「人間は、何をしたかじゃない。どういうふうな生きたか。どんなにすごいことやっても、人に恨まれたり、憎まれたら人生つままないね。それよりも一生懸命やってる人のほうが素敵。だから、一生懸命生きて下さい」。

そう生徒に投げかけたのは、絵本作家の宮西達也さんです。「ベルマーク版オーサービジット」が北海道八雲養護学校(佐橋正智校長・生徒17人)で11月1日に開かれました。

本の著者(オーサー)が学校を訪問し(ビジット)、特別授業をする、朝日新聞の人気企画のベルマーク版です。自校に

来てほしい気持ちを生徒が色紙に寄せ書きし、それを読んだオーサーが訪問する学校を決めます。

生徒を前に、校長はこう言いました。「先生が来てくれたことは、奇跡。なぜこんな奇跡が起こったかという、君たちのお父さんお母さん、それからのその先輩、そのまた先輩が、ベルマークの活動を続けて、積み上げてきたから。奇跡のウラには地道な努力がありました」。

同校はベルマーク運動に参加してからまだ5年しか経っていません。それでも、授業の開催に必要な3万円のベルマーク預金を着実に積み立てました。

「こんにちは。おじさんが、あの有名な宮西達也だぞ」。宮西さんの第一声は茶目っ気たっぷり。そして、「まずは、絵本を読んでみよう」。なんと著者本人による読み聞かせです。

「まねしんぼう」は、宮西さんが小さかったときの弟のことを思い出して描いた作品だそうです。「みんなが今うれしな、楽しいな、感動したなって感じる心はとても大事。勉強も大事だけどそれ以上に大事なものは心にあるんだよ。それがみんなを素敵な大人にしてくれます」。

いよいよ作業に入ります。「絵本は動かないから、読んでる人、聞いている人が、



(写真上)遠隔で授業を受ける生徒に、作業方法を説明する宮西さん

(写真下)夢中になって絵を描きます

頭の中で動かすんだよ。だから感性豊かになる」と宮西さん。黒とオレンジの2色だけを使って、ダンボールに好きなものの絵を描き、切りとっていきます。時折真剣な表情を見せながらもみんな笑顔が絶えませんでした。

その後、大きな額ぶちの中にみんなの絵を貼りつけていくと世界で一つだけの作品が出来上がりました。

授業後、佐橋校長は「勉強は教えられても、感性や感受性を育む機会が不足しているので、みんなで一つのものをつくりあげる活動は、とてもいい機会でした」と宮西先生への感謝を述べました。

マークのこと「もっと知りたい」

小3ベルマーク少年

岐阜市立西部小学校に通う山内滉稀くん(3年)は大のベルマークファン。夏休みに図書館で「ベルマークのひみつ」(高井ジロル著、2006年日本文芸社刊)という本を見つけ、感動して、課題図書でもないのにこれで読書感想文を書いたそうです。枕元に置いて寝るほど気に入って、返却期限が迫ると号泣したそう。かわいそうなので、お父さんの政弘さんが売っているところを探したのですが、なかなか見つかりません。

問い合わせを受けた財団職員が、たまたまこの本を持っており、譲ってあげることにしました。本を送ると、丁寧なお礼の手紙が。「本当にありがとうございました」滉稀くんはクラスで同級生に呼びかけてマークを集めているそうです。これからはマークを仕分けるボランティア活動やイベントにも参加して、ベルマークの事をもっと知りたいと思っているとのこと。滉稀くん、頑張ってくださいね。



滉稀くん、これからも頑張ってくださいね!!



ヴァンフォーレの試合でマーク回収

J2今季最終戦、山梨中銀スタジアム

サッカーJ2ヴァンフォーレ甲府の今季リーグ最終戦があった11月17日、会場の山梨中銀スタジアムで恒例のベルマーク回収イベントが実施されました。

ヴァンフォーレ甲府、スポンサーのはくばく、ベルマーク協賛会社のあいおいニッセイ同和損保(ベルマーク番号92)山梨支店、同損保の地元代理店さいとうエージェンシーの4者が2013年から毎年実施しています。マークを5点以上持参すると抽選で景品が当たるため、

一時は50m近い列ができました。選手たちのサインボールを当てた向山蒼真くん(6歳)は、喜びのあまりぴょんぴょん飛び跳ねます。お母さんの由起子さんは「1年間ベルマークをためて持ってきたかがありました」。さいとうエージェンシーの齋藤寿人社長は「会場に来られないからとマークを郵送して下さる方もいる。ありがたいです」と話していました。マークは財団に贈られ、東日本大震災被災校などのために使われます。



ボールが当たったよ

NEWクレラップ、早さと正確さ競う

クレハカット選手権、東京で決勝大会

協賛会社のクレハ（ベルマーク番号10）が主催する「NEWクレラップクレハカット選手権」東京決勝大会が11月23日に開かれました。30秒間でいくつの食器にラップできるかを競う大会です。

集まったのは、予選大会を勝ち抜いた総勢11人。大会開始前から選手の皆さんは緊張した面持ちでした。

それもそのはず、トーナメントを勝ち抜きグランプリを獲得すると純金製ミニチュアサイズの「NEWクレラップ」（100万円相当）が、準グランプリには純銀製ミニチュアサイズがもらえるのです。さらにどちらも、「NEWクレラップ」1ケースが付いてきます。

ルール説明では、商品にベルマークがついていることも盛り込まれ、競技に使われる商品のマークは切り取られた後、社員が回収していました。

陸上で言う「位置に着いて」のポーズの代わりに、選手は手を耳の横に上げ、手のひらを前に向けたポーズをとって待機。時報のようなスタート音とともに、手を下ろしてスパッ！スパッ！と軽快にラップをかけていきます。終了音が鳴ると競技終了。きちんと食器が覆われているかどうか審査員がチェックしていきます。

大変な盛り上がりを見せた結果、見事グランプリに輝いたのは鈴木さん。決勝戦では23枚という記録を出しました。コツは「絶対にクルリちゃんから目を離さないこと。そこがカチッとしまっていないと巻き戻ってしまう」のだとか。準グランプリは、19枚のラップをかけた藪さん。「おとといからラップ2本分練習しました。私は右手でラップを切るの、左手はふんわりと、そしてカチッとふたをすること」が大事だそうです。

他に、「キチントさん」や小林豊社長とのジャンケン大会も行われ、同伴者も含め楽しい時間を過ごしました。

小林社長は「消費者の皆さまにいちばんうれしいラップでありたいという思いで、何十年もかけて切れやすいカットを確立してきました。ぜひそれを実感していただけたらいいなと思います」とコメントしました。

グランプリの鈴木さんが話したクルリちゃんの部分は「きちんとキレ窓」と言います。フタをきちんと閉じ、窓からのぞいているクルリちゃんが見えたと状態でカットすると、うまく切れると推奨されています。

ベルマークがついているのは使用前に箱を開けるとき切り取る部分で、ミシン目が入っています。



(上) 決勝戦の様相 (下左) 豪華賞品 (下右) キチントさん



いのちを守る「防災学」大人にレクチャー

福岡教育大学附属小倉小で防災科研・林理事長

福岡教育大学附属小倉小学校で11月8日に開かれた防災教室は、家庭での防災準備や子供の指導に役立てたいという同校育友会（PTA）の希望を受け、初めての大人向けの教室となりました。テーマは「いのちを守る防災学～九州を襲った災害から学ぶ防災の知恵～」。国立研究開発法人防災科学技術研究所の林春男理事長が、約100人の保護者を前に話をしました。

2017年の九州北部豪雨は、長時間同じ場所で強い雨が降り続く「線状降水帯」ができたことが原因でした。また、小倉は全国2000ある活断層のうち114しかない「主要活断層帯」の上に位置するそうで、地震にも注意が必要です。断層の割れ目には水が湧き出やすいため、温泉や酒蔵がある町は地震が起きやすいそうです。

「線状降水帯による豪雨」と「直下地震」は、どの市町村でも備えるべきで、訓練して対応力を高めていくことが大事。林理事長は、「時代とともに災害対策の担い手は変化していき、あと何年かすると皆さんのお父さんが日本を引っ張っていく存在になります。いざという時に子どもたちが的確に動けるよう防災力をしっかり身につけてほしい」と訴えました。

同校は今年度財団が募集した「ベルマーク便りコンクール」でも特別賞を受賞しました。育友会研修委員長の牛嶋重美さんは「子どもたちに今日のお話をしっかり伝え、今後の生活に生かしたいと思います。ベルマーク活動が巡り巡って支援の一步になる事を忘れず、マーク収集にも一層力を入れていきたい」と話しました。



ベルマーク便りコンクール結果発表

2018年度ベルマーク便りコンクールの入賞校が決まりました。応募総数は73校。優秀校10校には各3万円と表彰状、佳作6校と特別賞5校には各1万円と表彰状、その他の学校には2000円の図書カードをお贈りしました。

財団HPでは今年度から、優秀賞の作品の一部をPDFで紹介しています。これも参考にして、ぜひ来年度の応募もよろしくおねがいします。



↑ 摂津市立別府小学校



↑ 札幌市立あいの里東小学校

●優秀賞

- 摂津市立別府小学校 (大阪府摂津市)
- 那覇市立小緑小学校 (那覇市)
- 札幌市立あいの里東小学校 (札幌市北区)
- さいたま市立大久保小学校 (さいたま市桜区)
- 二日市カトリック幼稚園 (福岡県太宰府市)
- 横浜市立豊岡小学校 (横浜市鶴見区)
- 松戸市立旭町小学校 (千葉県松戸市)
- 愛媛県立しげのぶ特別支援学校 (愛媛県東温市)
- 大阪市立常盤小学校 (大阪市阿倍野区)
- 東広島市立八本松小学校 (広島県東広島市)

●佳作

- 京都市立嵐山東小学校 (京都市西京区)
- 福岡市立板付小学校 (福岡市博多区)
- 久留米市立南小学校 (福岡県久留米市)
- 江別市立いづみ野小学校 (北海道江別市)
- 堺市立登美丘西小学校 (堺市東区)
- 八王子市立東浅川小学校 (東京都八王子市)

●特別賞

- 入間市立狭山小学校 (埼玉県入間市)
- 三島市立北幼稚園 (静岡県三島市)
- 草津市立玉川小学校 (滋賀県草津市)
- 堺市立熊野小学校 (堺市堺区)
- 福岡教育大学附属小倉小学校 (北九州市小倉北区)

大台達成校

| 11月 | | |
|--------|---------|-----------|
| 金岡小 | 堺市北区 | 8,087,236 |
| 我孫子第四小 | 千葉県我孫子市 | 5,038,543 |
| 板橋第十小 | 東京都板橋区 | 5,012,616 |
| 米田小 | 兵庫県高砂市 | 5,002,529 |
| 日佐小 | 福岡市南区 | 5,010,990 |
| 南小 | 宮崎県延岡市 | 5,001,512 |
| 治田小 | 滋賀県栗東市 | 4,036,031 |
| 山本小 | 広島市安佐南区 | 4,004,763 |
| 西高宮小 | 福岡市南区 | 4,024,929 |
| 境木小 | 横浜市戸塚区 | 3,008,339 |
| 日新小 | 福井市 | 3,008,531 |
| 城東小 | 長野市 | 3,013,949 |
| 北小 | 岐阜県岐南町 | 3,000,400 |
| 北陽小 | 長崎市 | 3,011,956 |
| 浪岡南小 | 青森市 | 2,026,262 |
| 細谷小 | 宇都宮市 | 2,003,500 |
| 恵の園 | 群馬県渋川市 | 2,017,510 |
| 清和小 | 東京都豊島区 | 2,003,853 |
| 富谷小 | 東京都渋谷区 | 2,010,083 |
| 綾北小 | 神奈川県綾瀬市 | 2,009,507 |
| いづみ野小 | 横浜市泉区 | 2,012,739 |
| 飾磨西中 | 兵庫県姫路市 | 2,002,468 |
| 福島第四中 | 福島市 | 1,000,699 |
| 宮前平小 | 川崎市宮前区 | 1,001,143 |
| 大豆島小 | 長野市 | 1,022,180 |
| 都田小 | 浜松市北区 | 1,014,798 |
| 葛野小 | 京都市右京区 | 1,009,983 |
| 沢池幼稚園 | 兵庫県明石市 | 1,040,936 |
| 掖上小 | 奈良県御所市 | 1,008,888 |
| みどり坂小 | 広島市安芸区 | 1,013,238 |

財団見学

10/22 千葉県船橋市立海神小学校教育の会（PTA）広報委員会、真栄田淳子さんと高田りつ子さん
▽ 11/5 兵庫県伊丹市立荻野小学校PTA会長、吉崎英樹さん▽ 11/9 広島県府中町の松尾真希さん

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

子どもの本にも季節があって、クリスマスや冬休みを前にしたこの時期は、新刊の発行がもっとも多くなります。それだけに、紹介したい本がたくさんあって困りました。

絵本

『キツネのはじめてのふゆ』
(マリオン・デー・パウアー作、リチャード・ジョーンズ・絵、横山和江・訳、すずき出版)



森に雪が舞い始め、初めての冬を迎えようとしている一匹のキツネ。さなぎになる毛虫、渡りをするガン、冬眠につくクマなど、森の動物たちに冬の過ごし方を聞いて回りますが、どれもぴったりにきません。そして、キツネが見つけたのは……。絵本の王道のような展開で、新しい一步を踏み出そうとするキツネの姿が心に刻まれます。(低・中学年向き、1500円＋税)

『まめつぶこぞう パトゥフェ』
(宇野和美・文、ささめやゆき・絵、BL出版)



スペイン・カタルーニャの昔話の絵本。おひやくしようさんの子どものパトゥフェは、体が豆粒ほどしかありません。それでも自分より大きいお金を持ってお使いにいったり、とても元気です。今度はお弁当を届けに出かけましたが、キャベツと一緒に牛に飲み込まれてしまいます。スペイン版一寸法師というところですが、大きくなったり、鬼をやっつけたりはしません。ユーモアたっぷりの世界を、ささめやさんの絵が見事に表現しています。(低・中学年向き、

1600円＋税)
『やきいもやゴンラ』
(ながいくこ・作、くすはら順子・文、ポプラ社)



大草原のど真ん中にある「ゴンラのやきいもや」。あまりの評判に、毎日やきいもを求める動物たちの行列ができるのですが、簡単には買えません。なにしろゴンラのやきいも作りは手がかかるのです。待っている間の動物たちの様子、ゴンラのおいしいやきいもへのこだわり……。一つひとつの場面が楽しめて、この絵本を見たら、絶対にやきいもが食べたくなくなるでしょう。(低学年から、1300円＋税)

中学年向け

『ユンボのいる朝』
(麦野圭・作、大野八生・絵、文溪堂)



ユンボというのは、ショベルカーのこと。マンションの7階に住む幹が、近くのビルの屋上にあるのを見つけて。そのことをお父さんに言うと、ビルを壊すためと教えてくれます。お父さんは、仕事の大変さに「心がつかれてしまって」会社も休みがちです。幹も同じクラスの子から、万引きを迫られる悩みを抱えています。そんな折、あのユンボを運転する博巳さんと知り合い、口をきくようになります。次第に低くなっていくビル、ベランダで育ていくミニトマトのことなど、それぞれの光景が重なりつつ幹の心の成長の物語に収束されていき、心に迫ってくる、なかなか文学的な味わいの作品でした。(中・高学年向き、1300円＋税)

『ごろうくんと消えた時間』

(林原玉枝・作、高垣真理・絵、富山房インターナショナル)



作者の林原さんは、光村国語教科書の3年生掲載の「きつつきの商売」の作者で、これも動物たちの物語ですが、少し持ち味が違います。イタチのごろうくんはもちろん明智小五郎の動物バージョンで、「なんでもおなやみそうだんしょ」を開設しています。そこに届いた暗号の手紙。ごろうくんは難なく解読し、タヌキの王様からの手紙と知って、お城に出向きます。果たして、王様の相談とは？ユーモラスな展開の中から、ちょっと今の子どもたちにも似た王様の悩みが浮かび上がります。(中学年向き、1600円＋税)

高学年・中学生向け

『右手にミミズク』
(蓼内明子・作、nakaban・絵、フレーベル館)



6年生のタケルには、秘密がありました。未だに右と左の区別がつかないのです。あるできごとのために友だちには告白しますが、それを聞いていたらしい実里に、「覚えられないのなら、書くしかないと思う」と、手のひらに「右」「左」と書かれてしまいます。実里は6年生になって転校してきた子で、他の女の子たちとはあまりなじんでいません。これをきっかけに実里と話をすることになったタケルは、実里が漫画を描いていること、家族の問題を抱えているらしいことを知っていきます。そして、「右」の代

わりにミミズクの絵を描いてもらうようになったタケルは、段々左右の区別がつくようになっていき、運動会の旗作りなどを通じて、実里もクラスに溶け込んでいきます。実里の家族の問題も含め、結構重い題材でもあるのですが、登場人物たちのキャラクターの故か、さわやかな読後感でした。(高学年以上向き、1400円＋税)

『マレスケの虹』
(森川成美・作、小峰書店)



舞台は、太平洋戦争開戦前のハワイ。主人公のマレスケは14歳で、日系一世で小さな雑貨店を営むじいちゃんと、姉、兄との4人家族です。父親は5年前に亡くなり、母親は日本に帰ってしまっています。マレスケの名は、日露戦争の将軍乃木希典にちなんだもので、じいちゃんが名付けました。現地の公立学校に通う傍ら、マレスケは日本語学校にも通わされ、剣道部に所属しています。日系人の中では、日本がアメリカとは戦争はしないだろうという見方が支配的ですが、新しくやってきた日本語学校の校長は大和魂を強調します。そして、ついに開戦。真珠湾攻撃はハワイの日系人に対してこそ、不意打ちでした。日系人の中に動揺が広がる中、兄のヒロキは日系人部隊へ志願していきます。

児童文学で戦争を描く場合、70余年の時間をどう乗り越えるかということが、大人の文学以上に難問なわけですが、ハワイ・日本・アメリカという関係性の中で自らのアイデンティティを模索するマレスケの姿は、意外に今の子どもたちにとって他人事ではないように見え、これは児童文学でこそ書かれるべき作品だと納得しました。(高学年・中学生以

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉10月21日～11月20日

▼北海道 佐藤玲 網走市役所 道藤信代▼岩手県 杉田紀子▼宮城県 大山薫▼埼玉県 秋山松代 英会話イーオンアトレ川越校 渡辺由美子▼千葉県 (福) 光誠会フローラもばら 関田元子▼東京都 鎌田小学校 PTA パナソニックシステムソリューションズジャパン (株) J-MOT 首都圏 (有) 石川吹付工業 (株) モスフードサービス社会共創グループ 城南信用金庫 桜上水支店 東京ドローイング(株) プリズトンソフトウェア(株) 水野頼江 山田こずえ 荒川泉 坂本宏美 日本基督教団小金井緑町教会 森田幸子 JYJへの愛をささやく 坂平あゆみ 田口薫 水ing(株)▼神奈川県 寺山かづ子 柿沼恵子 中林繁治 加藤美和 田中宏 ASA 二俣川 加藤容子 茅ヶ崎市立円蔵中学校▼福井県 西児童クラブ▼岐阜県 池之迫貴之 岐阜県 JA ビジネスサポート(株) 井貝未奈▼静岡県 (株) 佐野新聞店 (株) 星野新聞伊東店 (株) 望月新聞堂 静岡県朝日会 松浦由加史 齊藤歯科 医院スタッフ・患者様一同 齊藤るみこ▼愛知県 田中利江 (株) 水野鉄工所 平野美鈴 ホーユー(株) 熱田神宮ガールスカウト第25団 (株) プライムダイレクト 長江政則 堀部悦子▼三

重県 殿林千鈴▼滋賀県 相馬貴美子 小林雷希▼大阪府 (株) NTTドコモ関西支社 小泉瞳 枚方市立招提北中学校 川道みや子 ほっとステーション御殿山スタッフ一同 片寄弘子▼兵庫県 舟橋順子 神戸市立菅の台小学校▼奈良県 伊藤佳世 安達智子▼山口県 匿名希望▼福岡県 キリンビバレッジ(株)九州地区本部 北九州市立守恒中学校 下川啓子 ニッカウキスキー(株)門司工場 かなでつむぎ▼長崎県 久保山繁樹▼鹿児島県 壽原智子▼沖縄県 比嘉智子▼無記名=33件●西日本豪雨寄付 レモネード大作戦

〈一般寄贈〉10月21日～11月20日

▼北海道 天里美代子 館岡隆・直人 美唄消費者協会▼宮城県 丹治美佳▼秋田県 戸嶋祐子▼栃木県 大塚雅子▼埼玉県 藪陽一 武内亮介 ヤマト運輸(労組)北東京支部▼千葉県 鈴木利和 森靖之 藍場英光 高橋豊広▼東京都 IHG・ANA ホテルズ労働組合連合会 伊藤亜記 エルゼビア・ジャパン(株) 加藤美和 全国共済(農協連)全国本部 中村千佳 多摩南部朝日会 金井美知子 (株) グリーンハウス 塩野公認会計士事務所 鶴山英己 成田妙子 三

菱UFJニコス(株)リテール企画部広告宣伝G 三菱自動車工業(株) (有)立川新聞店 吉本ひろ子 立正佼成会練馬教会婦人部 泉順子 市川佳世子 鴨居愛佳 野口早苗 ANA テレマート(株) アイスター商事代理店安本晶子 赤木保之 朝日新聞東京本社販売管理部 味の中華綿徳 岩嶋寿子 上田優子 (株) 学研プロダクツサポート 仁田香織 富士ゼロックス東京(株)▼神奈川県 五十嵐良子 佐々木ちづる 新保順子 武田富士子 六十苺澄子 石塚貴子 牧田知与 石黒琢一郎 水梨美咲▼新潟県 地域密着型複合施設わしま 匿名希望▼石川県 石川工業高等専門学校機械工学科▼長野県 立花明美 原田さおり 丸田純子▼岐阜県 匿名希望 大塚福恵▼静岡県 水口▼愛知県 (株) 明電舎中部支社 田村千鶴子 鈴木みつる 中外製薬(株) 東海北陸統括支店 早川由紀 伴みち子▼三重県 岡田夏海 アイスター商事代理店・川口節子▼滋賀県 ばあびわこ▼大阪府 小谷ひろ ジブラルタ生命保険(株)なんば支社 下川義雄 松本由美子 永野美香▼兵庫県 今西正樹 古池和恵 コープこうべ第1地区活動本部塚口事務所 瀨上文乃▼奈良県 関本幸子▼鳥取県 永原千恵▼広島県 ハイモ(株)広島サテライト 無

記名 匿名希望▼福岡県 永浦泰之 宮本しのぶ 稲永幸子 諸富美世子▼長崎県 野中継吉▼熊本県 松田澄枝▼大分県 石堂泰史▼鹿児島県 上園浩二▼杉浦信子▼無記名=22件

〈友愛援助申し込み〉11月1日～11月30日

▼北海道 本室蘭中(室蘭市)▼宮城県 東仙台中(仙台市宮城野区)▼秋田県 平和中(大仙市)▼群馬県 下室田小(高崎市)▼埼玉県 松伏小(松伏町)▼千葉県 萱田南小(八千代市)▼東京都 綾瀬小(足立区)上鷲宮小(中野区) 修徳高(葛飾区) 国分寺市立第二中(国分寺市)▼神奈川県 二俣川小(横浜市旭区) 山崎小(鎌倉市) 山崎小(鎌倉市)▼石川県 美川小(白山市)▼長野県 筑北中(麻績村)▼三重県 徳和小(松阪市)▼兵庫県 南甲子園小(西宮市) 榎列小(南あわじ市) 倭文中(南あわじ市)▼広島県 三原小(三原市)▼山口県 良城小(山口市)▼香川県 のぞみ学園のぞみ幼稚園(高松市)▼熊本県 松島中(上天草市)